

坊っちゃん文学賞「ショートショート部門」 審査委員長「田丸雅智さん」が 是非とも教えたい 「まつやま大好き」ショートショートの書き方

○概要

授業内で、超ショートショートと呼ばれる原稿用紙 1~3 枚程度の短い小説の、アイデア発想から作品完成までを行います。小説の創作を通し、楽しみながら「発想力」「文章力」「論理的思考力」の育成を目指します。小説を書いたことがない方、作文が苦手な方でも全く問題ございませんので、ご安心ください。

出張授業は 2013 年から開始し、小学生からシニアまで、のべ 8000 人以上に授業を行っています。

第 1 回 日経「星新一賞」、第 2 回 日経「星新一賞」のジュニア部門では、受講生から受賞者 2 名を輩出。第 3 回 日経「星新一賞」では、同部門でグランプリと優秀賞 2 名を輩出しています。

○内容

- 日時：平成 29 年 3 月 13 日(月) 18:00~
- 場所：東京理科大学 森戸記念館 第 1 会議室
東京都新宿区神楽坂 4-2-2
東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 B3 出口
神楽坂毘沙門天前入る。
- 人数：30 名程度
- 対象：どなたでも。例えば「脳を活性化させたい人」
- 時間：90 分授業 参加無料



○講師



田丸 雅智(たまるまさとも)

1987 年、愛媛県生まれ。

東京大学工学部、同大学院工学系研究科卒。

2011 年 12 月『物語のルミナリエ』（光文社文庫）に「桜」が掲載され作家デビュー。

12 年 3 月には、樹立社ショートショートコンテストで「海酒」が最優秀賞受賞。

新世代ショートショートの旗手として精力的に活動している。

○申し込み方法

松山市東京事務所 e-mail tokyo@city.matsuyama.ehime.jp へお名前連絡先を送信してください。
申し込み締め切り 3 月 8 日、開催当日は、終了後、交流会を行います。

～ジブンを、出せ!～ 第 15 回坊っちゃん文学賞とは？



松山市は1889年（明治22年）の市制施行以来、四国の中核都市として発展を遂げる一方、文化的にも、正岡子規、高浜虚子など多くの俳人を輩出、夏目漱石の代表作『坊っちゃん』の舞台となった地として全国に知られています。

「坊っちゃん文学賞」は、このような文学的な背景のある本市が、新しい青春文学の創造を目指して1989年（平成元年）の市制100周年を機に創設したものです。

斬新な作風の青春文学小説を隔年で募集し、大賞1作品ならびに佳作2作品を決定しています。審査員には、椎名誠、早坂暁、中沢新一、高橋源一郎（順不同・敬称略）の諸氏が名を連ね、大賞受賞者には賞金として200万円を贈るほか、受賞作品を株式会社マガジンハウス発行の「Hanaoko」誌上に掲載する予定です。また、今回は第15回という節目であるとともに、審査発表を行う平成29年は正岡子規・夏目漱石生誕150年を迎えることから、これを記念し、新たに「ショートショート部門」を設けます。審査員長は松山市出身でショートショート作家として活躍中の田丸雅智氏です。より多くの皆様に創作活動に取り組む機会にさせていただくことで、更なる坊っちゃん文学賞の応募数拡大を目指します。

口にすれば愚痴
文字にすれば作品